

令和2年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会児童保育課
施設名称	37	東京都台東区立寿児童館	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えることにより、その健康を増進し、豊かな情操の育成に寄与する。
(2)	[所在地] 台東区寿1-4-5 [規模] 延床面積974.88㎡ RC造、地上3階地下2階 遊戯室、図書室、事務室、図工室、集会室、倉庫、機械室
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資すること ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別的指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 主に、区内在住の幼児から中学校終了までの者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日、日曜日一部開放（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時 休館日：年末年始、祝日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 9名 （内 訳）常勤職員5名、短時間職員3名、アルバイト等1名 （前年増減）短時間職員1名増、アルバイト等2名減

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	49,045,000	50,159,044	49,743,000	43,554,147
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ イベント参加費 ）	0	6,500	0	41,600
	計	49,045,000	50,165,544	49,743,000	43,595,747
支出	人件費	41,433,000	40,969,247	41,420,000	35,602,767
	光熱水費	2,135,000	2,265,022	2,336,000	2,021,828
	維持管理費（委託料・賃借料）	2,291,000	3,013,701	2,624,000	2,239,294
	修繕費	500,000	1,250,200	500,000	291,571
	事業費	785,000	1,126,349	815,000	1,873,083
	その他支出（ 通信運搬費等 ）	1,901,000	1,541,025	2,048,000	1,567,204
	計	49,045,000	50,165,544	49,743,000	43,595,747
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	292	332	328	297
事業実施回数	回	370	1,014	760	739

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用者数	人	19,900	59,515	60,372	44,628
利用登録者数	人	950	1,257	1,955	1,905

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
—

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令等を遵守し、個人情報保護や労働環境等への体制を整え、協定等に基づき適正な管理体制の下で運営を行っている。火災、地震、水害、不審者等様々な危機管理対策も講じている。新型コロナウイルス感染症対応では、区と十分な連絡調整を行った。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	近隣校での放課後対策事業開設による併設こどもクラブ利用者減の影響で、利用者数は目標値を下回ったが、協定書及び業務基準書に基づき年間計画を策定し、適切に事業を運営した。また、地域及び学校等関係機関と連携を深め、協力を得て様々な行事を実施した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の点検を入念に行い、修繕や危険箇所等の確認及び事故防止措置を適切に講じている。また、環境への配慮にも積極的に取り組んでいる。主として児童が利用する施設であることから、新型コロナウイルス対策も含め清掃・衛生管理は特に留意して実施した。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	毎年利用者満足度調査を行い、結果を分析し対応している。要望・意見を聴取する仕組みや、苦情処理体制も整備されている。平成30年度の課題等を踏まえ、各年代のニーズに合わせた環境整備や図書の実と、新しい遊びの提案等を行った。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	児童館事業全体としては予算内で執行されている。また、全館一括管理のスケールメリットを活かして管理経費の効率化を図っており、寿児童館としても効率化への取り組みを行っているが、予算を超過している勘定科目があり、予算化精度を上げる必要がある。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
5 点	休館日である日曜日(第2日曜日除く)と5月5日に施設の一部開放(「日曜開放」)を実施したことにより、利用者数が増加し、区民サービスが向上した。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (102 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>適正な管理体制の下で適切に運営している。また、平成30年度の反省等を踏まえ、各年代のニーズによる環境整備・図書充実や、新しい遊びの提案等を行うとともに、日曜に施設開放を実施するなど、積極的にサービス向上に取り組んでいる。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>「事業の運営」において、併設こどもクラブの入会状況を踏まえて利用者数の想定の見直しを行う必要がある。また、「収入支出」において、予算を大幅に超過している勘定科目があるため、予算化精度を上げる必要がある。</p>